

# 回覧

## 有秋中だより

令和2年9月 第2号

電話 66-1066

新型コロナウイルスの影響で市総体が中止となり夏季大会が代替の大会として実施されました。感染症拡大防止のため、各地区ごとのブロック大会となりましたが、3年生を中心とする生徒達は、総体とかわらぬ頑張りを見せてくれました。保護者の皆様におかれましては、観戦もかなわず、送迎など、ご理解とご協力をいただきましたことに、心より、深く感謝申し上げます。

学校は8月20日より授業開始となりましたが、生徒達の元気に過ごす様子が見られ、職員一同安堵しているところです。

引き続きコロナ対策と熱中症対策を両立させながら、職員一丸となって生徒達の成長のために精進して参りますので、今後ともご支援、ご協力のほど、よろしくお願い致します。

今回は、夏季大会などの結果を中心にお知らせいたします。

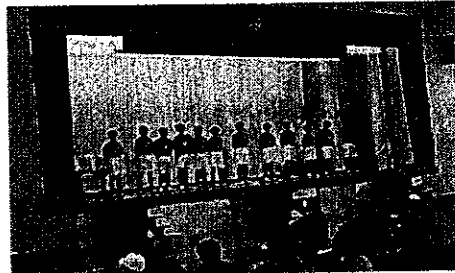
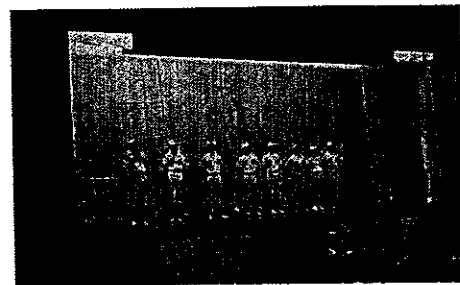
## 有秋中生徒の活躍

野球 第1ブロック 初戦惜敗

優秀選手賞 齋藤拓真

サッカー ブロック大会健闘

優秀選手賞 馬戸和哉



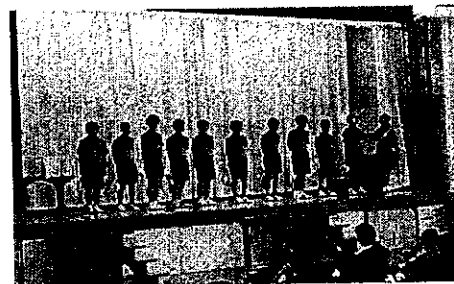
男子 ソフトテニス Aチーム 団体戦の部ブロック 優勝

男子 ソフトテニス Bチーム 団体戦の部ブロック 3位

男子 個人戦 ブロック

優勝 工藤暁久・園真紗翔 ペア

準優勝 渡部雅貴・江澤拓海 ペア



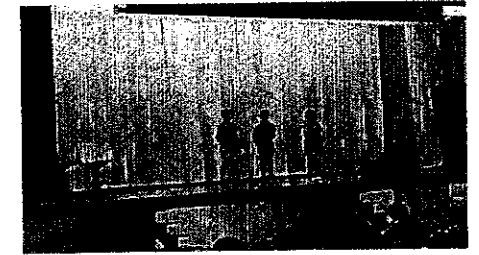
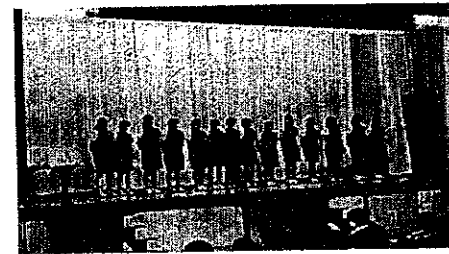
女子 ソフトテニス Aチーム 団体戦の部ブロック 準優勝

女子 ソフトテニス Bチーム 団体戦の部ブロック 3位

女子 個人戦 ブロック

優勝 柳瀬菜月・石川麻衣 ペア

3位 鈴木美海・羽賀凜月 ペア

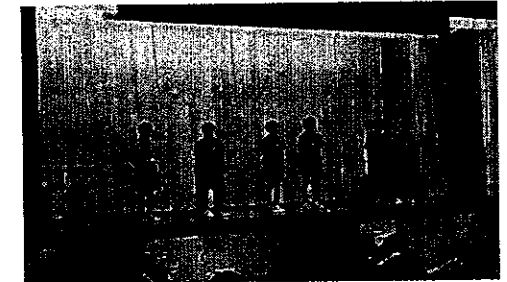
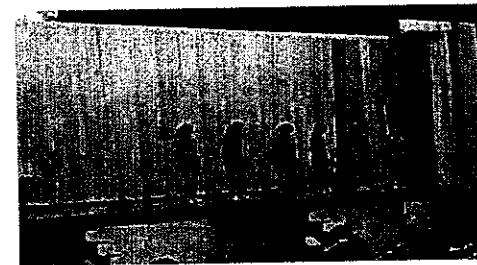


バレーボール 女子Aブロック 準優勝

優秀選手賞 笠井美雨

男子卓球 第4ブロック 3位

女子卓球 第3ブロック 3位

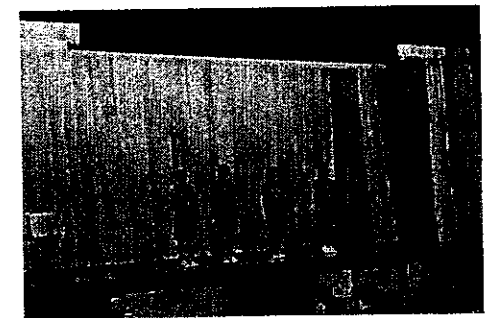
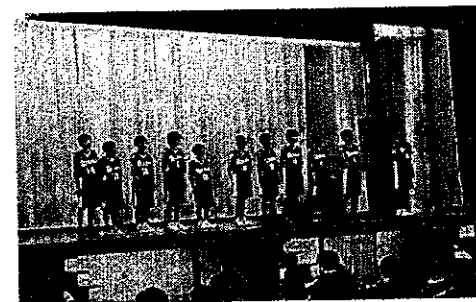


男子バスケットボール 優秀選手賞 甲斐巧真

女子バスケットボール 優秀選手賞 根本孔琳

優秀選手賞 紺野真帆

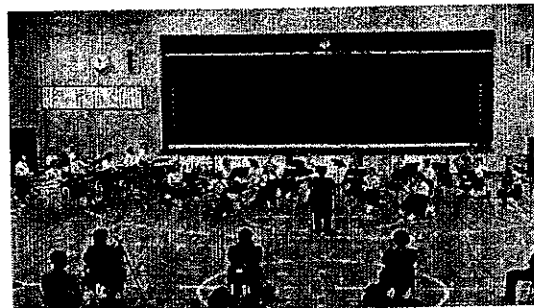
優秀選手賞 今井優希



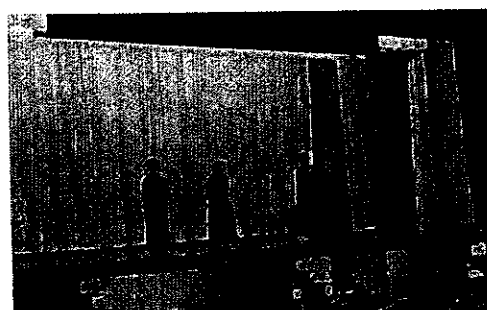
陸上 細谷幹大 1500M 3位 4分41秒19

**吹奏楽部**

7月26日に体育館で3年生引退演奏会を開催しました。1・2年生と合同の、最初で最後の発表となりました。全員の思いが伝わるような温かい雰囲気で行われ、心和むひとときを満喫しました。思い出に残る、すてきな演奏をありがとうございました。



剣道部は夏季大会に参加しませんが、8月上旬まで3年生はしっかり活動しました。美術部も次の発表の機会に向けて、作品制作を続ける意気込みを発表してくれました。



JA共済千葉県書写コンクール【東京新聞千葉支局長賞】森田美紅

千葉県小中高校席書大会【書星会賞】小倉桃実・立石真稀・上符未琉芭・宮崎陸翔

3年生は本当にお疲れさまでした。この頑張りは必ずや一人ひとりの人生にとって、大きな財産となることでしょう。部活動で得た友情や心の成長を糧として、今後の進路決定を乗り切り、次のステージでの活躍に期待します。また、今まで支えてくれた周りの人たちに、心からの感謝の気持ちを3年生からきくことができたのは、大変素晴らしいことだと思います。

3年生と苦楽をともにしてきた1・2年生は、(1年生は本当に短い間でしたが)8月の酷暑の中、有秋中の伝統を引き継ぐべく、どの部も新人戦や次のコンクール等に向けて懸命に練習に励んでいます。

地域や保護者の皆様には、今後ともあたたかく見守っていただき、励ましの言葉をかけていただけますよう、よろしくお願ひいたします。

**保護者や地域の皆様へ**

学校において、児童生徒等の学びを確保するための取組を進めることができているのは、保護者や地域の皆様に感染症対策の取組に御理解と御協力を賜っているからであり、心より感謝申し上げます。

しかし、このような取組を徹底しても学校や家庭、社会において感染するリスクをゼロにすることはできません。誰もが感染する可能性があります。その上、新型コロナウイルス感染症には未だ説明されていない点があり、ワクチンも開発中であることから、この感染症に対する不安をお持ちの方が多くと思います。

私たちは、この感染症と、この感染症がもたらした社会の変化に対して、現時点での科学的な知見や見解に基づいて、正しく向き合うことが必要です。私からは、保護者や地域の皆様に次の二点をお願いいたします。

第一に、感染者に対する差別や偏見、誹謗中傷等を許さないということです。

誰もが感染する可能性があるのですから、感染した児童生徒等や教職員、学校の対応を責めるのではなく、衛生管理を徹底し、更なる感染を防ぐことが大切です。

そして、自分が差別等を行わないことだけでなく、「感染した個人や学校を特定して非難する」「感染者と同じ職場の人や、医療従事者などの家族が感染しているのではないかと疑い悪口を言う」など身の周りに差別等につながる発言や行動があったときには、それに同調せず、「そんなことはやめよう」と声をあげていただきたい。人々の優しさはウイルスとの闘いの強い武器になります。

感染を責める雰囲気が広がると、医療機関での受診が遅れたり、感染を隠したりすることにもつながりかねず、結局は地域での感染の拡大にもつながり得ます。その点からも差別等を防ぐことは必要なことです。

第二に、学校における感染症対策と教育活動の両立に対する御理解と御協力です。

感染症への対応が長期にわたることが想定される中、学校では、感染症対策を講じつつ学校教育ならではの学びを大事にしながら教育活動を進め、子供たちの健やかな学びを最大限保障するための取組を進めていただいているところです。また、大学についても、感染症対策の徹底と、対面による授業の検討も含めた学修機会の確保の両立をお願いしております。

これからの予測困難な時代を生きていく児童生徒等や学生が、必要となる力を身に付けていけるよう、学校の教育活動の継続への御理解と御協力をお願いいたします。

新型コロナウイルスのみならず、感染症へ正しく対応するためには、最新の科学的な知見等を知ることが不可欠です。政府として、分かりやすい広報に努めているところですが、保護者や地域の皆様におかれても科学的な知見等を日々の生活に生かしていただきたいと思ひます。

令和二年八月  
文部科学大臣 萩生田 光一